

第13回江の川上流大規模氾濫時の 減災対策協議会 ニュースレター

令和7年6月5日（木） 13:20～14:10
三次河川国道事務所2階会議室（Web会議併用）

－次第一－

- 1) 減災に係る取組の進捗状況【報告】
- 2) 各機関の取組内容【報告】
- 3) 第2期減災に係る取組方針の見直し【報告】
- 4) 整備局からの情報提供【情報共有】

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会は、**第2期減災に係る取組方針（令和3～7年度）の最終年**を迎えました。

第13回協議会では、**令和6年度までの進捗状況や、各機関における令和6年度の取組内容及び令和7年度の取組予定を共有し、減災に係る取組方針（第2期）の見直しに向けた検討スケジュールを確認しました。**

■ 減災に係る取組の進捗状況

R6年度までの進捗状況について、進捗管理表に基づいて事務局より説明した。

■ 各機関の取組内容

R6年度の取組内容及びR7年度の取組予定について各機関より説明した。



三次市における排水ポンプ車合同訓練の取組



安芸高田市における自主防災組織成果活動報告会の取組



多機関連携型タイムラインの取組

■ 第2期減災に係る取組方針の見直し

第2期減災に係る取組方針の見直しに向けて、本年度内に勉強会や幹事会を通じて検討を進めることを確認した。

三次河川国道事務所 河村副所長より挨拶

- ・ 本協議会の目的は、江の川において想定される大規模氾濫に対して関係機関が連携してハード・ソフト一体で取り組み、水防災社会の再構築を推進することである。
- ・ 近年、全国的な水害の激甚化・頻発化に伴って地域からの防災・減災への要望も高まっており、行政として着実に取組を進める必要がある。

◆ 会議の様子



◆ 参加機関

出席：6機関

参加機関	
三次市	
安芸高田市	
広島県	
気象庁 広島地方気象台	
国土交通省 中国地方整備局	三次河川国道事務所 土師ダム管理所

■ 整備局からの情報提供

防災情報に関するWebサイトや要配慮者利用施設の避難計画、ワンコイン浸水センサ実証実験の取組等について事務局より情報提供した。

■ 意見交換（各機関の取組内容について）

●事務局

- 災害時には、国土交通省から各自治体ヘリエゾンを派遣し、現地での情報収集を行う体制となっている。
- 自治体において訓練を実施される際には、国土交通省も参加し、リエゾン派遣の訓練をさせていただきたい。

まとめ

- ✓ R6年度に各機関が実施した取組内容を共有し、R7年度も引き続き連携を図りながら取組を進めることを確認した。
- ✓ 次期取組方針の策定に向けて、勉強会や幹事会を通じて関係機関で協働して検討を進める。